

# 日枝小の子どもたちの大活躍劇! その1

## 大岡川でのゴミ拾いが、ストロー不要のパッケージデザイン提案へ!

なんとエコプロダクツ展で発表するまでに

横浜市立日枝小学校4年3組の子どもたちが大活躍。なんと、環境に関する最先端とも言うべきイベント・エコプロダクツ展でブースを出し、多くの人たちの前で自分たちの活動についてみんなて発表したのだ。

このの始めは昨年5月、当NPO豊田理事長が行なった出前授業。撮りためた大岡川の源流から河口までの豊かな自然。その豊かさとは逆行する多くのゴミ。捨てられたプラスチックゴミによって海亀や海鳥たちが生命を脅かされていること。プラスチックゴミがマイクロ化してサカナたちにも影響し、将来的には私たち自身に戻って来ることを。

子どもたちは、自分たちの身の回りで大変なことが起きていることに気づく。まずはPGT(PプラスチックGゴミT獲ったどお)大作戦に参加して、自分たちの大好きな大岡川をキレイにしたい。そう考えた。

### 月2回程度ではキレイにならない!

何回か子どもたちがPGT大作戦に参加したあと、豊田理事長に子どもたちから電話がかかってきた。「豊田さんたちがやっている月2回程度のPGTでは、大岡川はキレイにならない。ボクたちもPGTを企画しますから、豊田さんも応援に来てください!」

子どもたちは、大岡川を泳げるぐらいまでキレイにする「かがやけ!ブルーリバー♥ハッピープロジェクト!



当たり前のように給食の牛乳パックについてくるストロー。使わなければゴミにならない。まずは自分たちだけでもストローを使わない活動を子どもたちは始めたのだ。

～大岡川でつながり合おう大作戦!～と名打った活動を展開させた。大岡川を川の生き物たちも自分たちも幸せになるキレイな環境にするために、地域ぐるみで取り組もうという活動である。

### プラスチックゴミの関心が高まる

活動を通じて、レジ袋やペットボトル、吸い殻のフィルターなど、プラスチックゴミが街に溢れていることに気づく。今まで自分たちが何も疑問を持たずに使っていたプラスチックがゴミとなり、川に流れて、海に流出。そしてそれらが海の生き物たちを苦しめていることを知る。ゴミ拾い以外でも、ボクたちに何かできることがあるはずだ。そこで気付いたのが、給食の牛乳パックに付いてくるストロー。クラス全体でストローを使わなければ、ストローはゴミにならない。

### 本当にストローは必要なのだろうか?

しかし、ストローを使わず、無理に開けると飲みにくい形状になった。そこで子どもたちは本当にストロー

がないと牛乳は飲めないかをみんなで考えた。結果はノーだった。だったら、ストローがなくても飲みやすいような紙パックにすればいいのではと考えたのだ。

### 紙パックデザインを自分たちで考えた

瓶にしたらどうかも考えた末に、校舎の4階まで給食当番が牛乳を運ぶには重すぎる。缶入りも考えたが、缶入りの牛乳は見たことがない。やはり紙パックで飲みやすいデザインを考えるべきだと考えた。

あるチームは円筒形のもの、別のチームは、親から昔テトラパックというピラミッド型の紙パックがあったことを聞いて、それを真似た。またもう一つのチームは、現状の紙パックに飲み口をつけた。

これを見た担任の先生は、学校に納入している横浜乳業株式会社に電話し、いきさつを伝えた上で、子どもたちの話を聞いてもらえないか相談したのだ。

### 大人たちの前でプレゼンすることに

その結果、横浜乳業株式会社と紙パックを作る日本製紙株式会社の社員合わせて8名が小学校を訪れ



子どもたちのプレゼンが始まり、横浜乳業株式会社、日本製紙株式会社の各担当者たちは、一言も漏らさぬように話を真剣に聞いていた。プレゼン後、すぐにパッケージのデザインを変えることはできないが、開ける側の接合を弱めるなどの改良はできるかもしれないと語ってくれた。

た。子どもたちは自分たちの考えたパッケージデザインをプレゼン。ちょうど世の中もストローについては関心も高まっていたこともあり、社員の方たちも真剣に話を聞いてメモを取っていた。

その後、11月に大岡川を中心に行われた運河パレードでも活動を発表。12月のエコプロにつながったのだ。



11月に行われた運河パレード。会場となった日本丸メモリアルパークで、子どもたちは自分たちの活動を元気に発表。回数をこなすうちに発表の仕方かなり上手になっていた。

# 日枝小の子どもたちの大活躍劇! その2

## 環境絵日記で、山本夏海さん「地域企業賞」受賞!



ゴミ拾いから環境意識が高まり、動物園で見たことを絵日記にした。

日枝小学校での環境出前授業の行く末は、エコプロではとどまらなかった。横浜市資源リサイクル事業協同組合主催、横浜市共催による『環境絵日記展2018～環境未来都市からSDGs未来都市・横浜へ～』は、

19回目を迎える小学生対象のイベントだ。環境問題や環境保全について、絵と文章の組み合わせで自由に表現する絵日記のコンテストである。22,255作品の応募の中から、日枝小学校4年3組の山本夏海さんの作品が、「地域企業賞(太陽住建)」を受賞した。

夏休み中に家族で北海道旅行に行き、旭山動物園を訪れ、アザラシの飼育プールで見て感じたことを絵日記にしたもの。

飼育プールにいた羽が折

れて飛べないセグロカモメ。3～4年前に海で釣り糸が絡んで羽を折って飛べなくなった。この動物園で保護され、飛べないまま暮らしている。人が何気なく捨てた物が生き物たちの命を脅かしていることを目の当たりにし、感じたことをこら綴っている。

私たち人間が、ゴミを減らし、出したゴミはきちんと分別して捨てれば、海のゴミを減らせる。

これもPGT大作戦に参加し、ゴミ拾いを通じて環境問題に意識が高まったからこそ気づいたのだそうだ。



左から日枝小学校高山和宣副校長、山本夏海さん、株式会社太陽住建河原真輝社長。



子どもたちはチームに分かれ、それぞれがストローを使わないでも飲みやすいような牛乳紙パックのデザインを考えました。案をみんなで練り、展開図も描き、実際の形も作った。

総合建設業 **株式会社 キクシマ**  
www.kikushima.co.jp

注文住宅建築・集合住宅建築・教育施設建築・福祉施設建築・商業施設建築  
耐震補強工事・リフォーム・リノベーション・鉄骨製作工事

☎ 0120-96-6663 本社:横浜市港南区港南台 4-39-7

横濱 **いせぶら** パウンド  
YOKOHAMA ISEBURA POUND

合名会社川本屋商店  
横浜市中央区伊勢佐木町 6-146 ☎045-261-7652